

資料 1

令和4年度広島県大学図書館協議会総会議事要録

日程：令和4年7月7日（木）13:30～16:30

開催場所：広島大学中央図書館ライブラリーホール

参加：加盟館 23 機関

欠席：広島国際学院大学図書館，呉工業高等専門学校図書館

議 事

1. 報告

(1) 令和3年度事業報告について

広島大学 前田図書学術情報普及グループリーダーから，令和3年度広島県大学図書館協議会事業報告（資料1），令和3年度広島県大学図書館協議会総会議事要録（資料2）について報告があった。

(2) 令和3年度研修企画委員会の活動報告について

研修企画委員会委員長の広島文教大学 石井事務長から，令和3年度研修企画委員会の活動について報告があった（資料3）。

(3) 令和3年度共同リポジトリ委員会の活動報告について

共同リポジトリ委員会委員長の広島都市学園大学 片山司書から，令和3年度共同リポジトリ委員会の活動について報告があった（資料4）。

2. 各館活動報告(各館)

各参加機関の代表から令和3年度の図書館活動について報告があった（資料5）。その後，次のとおり質疑応答があった。

(1) (山陽女子短期大学より広島工業大学に) 図書や雑誌の無償譲渡をどのように行ったか

- ・決まった部屋に図書や雑誌を置いておき，1週目は学生のみ，2週目からは教員も可として，持って帰ってもらう方式。誰が何冊持って帰ったかのみ記録。50%ほどは引き取られた様子。

(2) (広島経済大学より広島大学に) 霞図書館で開始したキャッシュレス決済の効果と今後の運用について

- ・利用は徐々に増加している。完全にキャッシュレスにはしていない。現在は導入直後につき，他館への導入については未定。

(3) (広島都市学園大学より広島市立大学に)「教員によるオンラインブックハンティング」の詳細について

- ・紀伊国屋 bookweb を使用した。

(4) (広島経済大学より県立広島大学に) オンライン脱出ゲームの詳細と，作成段階や作

成検討時の図書館からの働きかけについて

- ・脱出ゲームは卒業研究で作成されているものであり、年々レベルアップしている。卒業研究を行っている研究室の先生が、かつて図書館のセンター長だったという経緯がある。

(5) (広島大学より広島市立大学に)「附属図書館の将来像 2022-2027」はどのような意図で作られたのか。

- ・現在の館長が情報科学系ということもあり、可能な分量で作成をしようというところから始めた。

3. 協議

(1) 令和3年度決算案及び監査報告について

広島大学 上田図書学術情報企画グループ副グループリーダーから、令和3年度決算書(案)(資料6)および監査館の広島工業大学から監査報告書(資料7)が提示され、原案どおり承認した。

(2) 広島県大学共同リポジトリ(HARP)の運営中止について

共同リポジトリ委員会委員長の広島都市学園大学 片山司書から、広島県大学共同リポジトリ(HARP)の運営中止について提案があり(資料8)、原案どおり承認した。

(3) 令和4年度事業計画案について

広島大学 前田図書学術情報普及グループリーダーから、令和4年度事業計画案について提案があり(資料9)、原案どおり承認した。

(4) 令和4年度予算案について

広島大学 上田図書学術情報企画グループ副グループリーダーから、令和4年度予算書(案)について提案があり(資料10)、原案どおり承認した。

(5) 令和4年度役員館・委員館の選出について

広島大学 尾崎図書学術情報企画グループリーダーから、令和4年度の役員館・委員館の選出について提案があり(資料11・12)以下のとおり承認した。

(5-1) 幹事館の選出

幹事館は任期2年で今年度が改選のため、慣例により選挙を行った。開票立会は広島大学図書館、広島修道大学図書館、安田女子大学図書館。開票結果は次のとおり、広島大学 尾崎図書学術情報企画グループリーダーから報告された。

国立大学の部 広島大学図書館

公立大学の部 広島市立大学附属図書館

私立大学の部 広島経済大学図書館、広島修道大学図書館、
安田女子大学図書館

短期大学の部 呉工業高等専門学校図書館

また、新幹事館の推薦により、広島大学図書館が代表幹事館に選出され、承認された。

(5-2) 幹事館以外の役員館・委員館の選出

- ・ 監査館は、輪番で広島国際大学図書館が選出され、承認された。
- ・ 研修企画委員館は、広島大学図書館、比治山大学図書館、広島修道大学図書館、広島文化学園大学図書館、広島文教大学附属図書館、安田女子大学図書館、広島商船高等学校図書館が選出され、承認された。また、委員長館は広島文教大学附属図書館が選出され、承認された。

(6) 次期当番館について

代表幹事館の広島大学 尾崎図書学術情報企画グループリーダーから次期総会当番館について説明があった(資料13)。尾道市立大学附属図書館が推薦され、承認された。

4. 承合事項

(1) 学外利用者の図書館利用状況について

(福山市立大学提出・資料14)

各参加機関の代表から、資料14の通り報告があった。

(2) 図書館入退館ゲートによる利用統計の活用について

(広島大学提出・資料15)

各参加機関の代表から、資料15の通り報告があった。

配布資料

- 資料1 令和3年度広島県大学図書館協議会事業報告
- 資料2 令和3年度広島県大学図書館協議会総会議事要録
- 資料3 令和3年度研修企画委員会活動報告
- 資料4 令和3年度共同リポジトリ委員会活動報告
- 資料5 各館活動報告
- 資料6 広島県大学図書館協議会令和3年度決算書(案)
- 資料7 監査報告書
- 資料8 広島県大学共同リポジトリ(HARP)の中止について(案)
- 資料9 令和4年度広島県大学図書館協議会事業計画(案)
- 資料10 広島県大学図書館協議会 令和4年度予算書(案)
- 資料11 令和4年度 役員館・当番館等の選出について
- 資料12 広島県大学図書館協議会役員館等一覧(案)
- 資料13 総会会場順次表・研修実施会場年次表

- 資料 14 承合事項 1「学外利用者の図書館利用状況について」
資料 15 承合事項 2「図書館入退館ゲートによる利用統計の活用について」
資料 16 広島県立図書館提出「広島県内図書館等横断検索に御参加ください！」
会則・規約
加盟館一覧

以 上

資料 2

令和4年度広島県大学図書館協議会事業報告

1. 会議

(1) 令和4年度総会

日時：令和4年7月7日（月）

会場：広島大学中央図書館ライブラリーホール

(2) 役員会：令和5年6月27日（火）

(3) 研修企画委員会

第1回：令和4年8月2日（火）

第2回：令和4年9月30日（金）

第3回：令和4年10月28日（金）

第4回：令和5年6月2日（金）

(4) 共同リポジトリ委員会

第1回：令和4年11月1日（火）

第2回：令和5年3月24日（金）

※ 総会以外オンライン開催。

広島県内連絡協議会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

2. 研修会

第1回

日時：令和4年11月29日（火） 13:30～15:30 （オンライン）

テーマ：「オープンサイエンスと研究データ管理」

第2回

日時：令和4年12月19日（月） 13:30～16:00 （オンライン）

テーマ：「図書館の広報」

3. 事業

(1) 協議会ホームページの運用

(2) 共同リポジトリ（HARP）の運用と JAIRO Cloud への移行対応

(3) 全国大学ビブリオバトル広島地区決戦の開催

※ 「ひとめでわかる広島県大学図書館協議会（通称：ひとめマップ）」は新型コロナウイルス感染防止対応のため令和4年度は更新なし。

令和4年度広島県大学図書館協議会研修企画委員会活動報告

1. 研修会

第1回

日 時：令和4年11月29日（火） 13：30～15：30

開催方法：オンライン

テ ー マ：「オープンサイエンスと研究データ管理」

内 容：

- ・講 演「オープンサイエンスと大学図書館」
講 師 杉田 茂樹氏（京都大学附属図書館 事務部長）
- ・事例報告「広島大学における研究データの管理と公開」
報告者 上田 大輔氏（広島大学図書館）

参 加：14機関 43名

アンケート結果：<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/haul/?p=1102>

第2回

日 時：令和4年12月19日（月） 13：30～16：00

開催方法：オンライン

テ ー マ：「図書館の広報」

内 容：

- ・各館報告
報告者 広島修道大学、広島市立大学、広島経済大学、比治山大学
- ・グループセッション1
- ・グループセッション2
- ・全体のまとめ

参 加：18機関 35名

アンケート結果：<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/haul/?p=1107>

2. 評価と課題

第1回

基調講演と事例発表を通じてオープンサイエンスや研究データについての理解を深め、さらに研究データ管理に図書館がどのようにかかわるのかといった具体的な実践につなげていくことを契機とすることを目的とした。

アンケートの回答を見ると、全体的に時間もちょうどよく、内容についても「とても満足」「まあ満足」とあり、好評であった。感想を見ると、経緯や根拠が示されており興味深い内容だった、大学図書館のあり方やオープンサイエンスの今後の流れがイメージできた、漠然としていたデータ管理について理解を深めることができた、大学で検討しないといけないことが明確になったとあり、この結果から研修会の目的は達成できたと思われる。

今後も旬の課題を取り上げていきたい。

第2回

各館において効果的であった取り組み事例を共有するとともに、各館の広報の課題を浮かび上がらせることを目的とした。また、この度は事前アンケートをもとに、研修会前に他大学への質問を提出していただき、質問が寄せられた館には、回答していただくという方法を取った。

アンケートの回答を見ると、全体的にちょうどよく、内容についても「とても満足」「まあ満足」とあり、好評であった。感想を見ると、資料や写真、学内限定の動画など具体的な説明があったため大変参考になった、他大学図書館の広報における悩みや具体的な取り組みを知ることができた、他大学図書館職員と情報交換ができ有意義だったとあり、研修会の目的は達成できたと思われる。

課題としては、グループセッションにおいて、各大学図書館の取り組みに対する質問や悩みなど自由に話ができる場とし、あえてテーマを設定しなかったが、活発な話し合いとならなかったグループもあったため、今後はグループセッションの組み立てを工夫したい。

オンライン開催について

今年度も新型コロナウイルス感染症予防の観点からオンライン形式で開催を行った。第2回研修会では悪天候に見舞われたが、オンライン開催のため参加者の影響が少なく問題なく開催できた。オンライン開催なら参加できるという館もあるため、開催方式については、研究会のテーマや内容により柔軟に検討していきたい。

令和4年度共同リポジトリ委員会活動報告

○総会において HARP の運営を中止する方針が承認された

令和4年度広島県大学図書館協議会総会（令和4年7月7日開催）において、協議事項として2023年度の適切な時期に広島県大学共同リポジトリの運営を中止する方針を提案し、承認された。

○広島県大学共同リポジトリ運営中止を通知

令和4年8月2日付で、総会において「広島県大学共同リポジトリについて協議され、令和5年度の適切な時期に運営を中止することが決定された」旨を広島県大学共同リポジトリ各参加館館長宛に通知した。

○第1回委員会

日時 令和4年11月1日（火）15時00分～16時40分

場所 オンライン会議、広島大学中央図書館 会議室

出席者 16機関28名参加（拡大委員会とし、HARP参加館が出席）

1. 共同リポジトリ委員会（拡大委員会）

（1）「意向確認」の結果及び今後のスケジュール（概要）について
広島大学 山根より、資料1～3に基づき説明があった。

（2）JAIRO Cloud への移行について

広島大学 山根より、資料4～5に基づき説明があり、データ移行作業手順、担当（案）等について意見交換を行ったところ、以下の質問、要望などがあった。（主な内容を抜粋）

- ・2022年12月頃までは、現行リポジトリへコンテンツ登録は可能か。
回答：登録可能
- ・移行作業を開始しても、現行リポジトリは閲覧できるか。
回答：2023年秋頃まで閲覧可能とする予定
- ・移行作業の情報を共有する場として、勉強会などを実施してほしい。
回答：検討します

2. 共同リポジトリ委員会 協議

（1）共同リポジトリ事業費による2022年度JPCOAR基本会費の負担について

広島大学 山根より、資料6に基づき説明があり、協議の結果、資料6の通り進めることが了承された。また、支払い時にかかる銀行の振込手数料も共同リポジトリ事業費で負担するとの補足説明があった。

（2）その他

・共同リポジトリ委員会の委員の任期は2023年度総会までの予定。その後のコミュニティについては、委員会という形を継続するか、その他の体制へ変更するか、など検討が必要である。2023年3月頃を目途に、再度、委員会を開催し今後の方向性を検討することとした。

○HARP から JAIRO Cloud へのデータ移行の概要

- ・想定していた2023年4月～10月にはJAIRO Cloud への移行ができないことが判明したため、2023年3月までに移行するスケジュールに変更（2022年10月）
- ・2022年12月末でHARPでの新規登録停止

- ・2023年1月 5機関に JAIRO Cloud 環境提供（第1グループ）
- ・2023年1月 広島文教大学でデータ移行作業の検証を実施
- ・2023年1月27日に HARP からメタデータ、PDF データを抽出
- ・2023年2月初旬第1グループに、2月中旬第2、第3グループに移行データ送付
- ・2023年2月 5機関に JAIRO Cloud 環境提供（第2グループ）
- ・2023年3月 5機関に JAIRO Cloud 環境提供（第3グループ）
- ・2023年6月 9機関が JAIRO Cloud に移行済

○リポジトリ事業経費から支出

- ・令和4年度 JPCOAR 基本会費 322,000 円、振込手数料 825 円
 - ・JAIRO Cloud 移行用メタデータ抽出費用 176,000 円、振込手数料 825 円
- 会費残金：1,440,587 円
 （令和5年度に HARP サーバ処理費用が必要となる可能性がある）

○広島県大学共同リポジトリ JAIRO Cloud 移行オンライン説明会

日 時 令和5年3月1日（水）14時00分～15時30分
 場 所 オンライン、広島大学中央図書館 会議室
 出席者 17機関 33名参加

概要

- ・移行資料、システム操作説明、システム操作デモ
- ・移行事例報告
- ・今後のスケジュールについて
- ・その他
- ・質疑応答

○第2回委員会

日 時 令和5年3月24日（金）11時0分～11時58分
 場 所 オンライン会議、広島大学中央図書館 会議室
 出席者 5機関 8名参加
 主な内容のみ掲載

（1）共同リポジトリ委員会の今後について

協議の結果、令和5年度も現委員館に引き続き共同リポジトリ委員館を引き受けて頂き、共同リポジトリ委員会は、令和6年度総会で廃止する方針で進めることが了承された。

（2）共同リポジトリ事業経費の執行について

協議の結果、事業経費の執行について了承された。

（3）共同リポジトリ会費残金の扱いについて

協議の結果、2案への対応が可能かを HARP 参加館に確認し、引き続き残金の扱いを検討することが了承された。残金の扱いについては、令和6年度総会で協議事項とする予定であるとの説明があった。

（4）HARP としての情報共有の場について

協議の結果、資料の通り進めることが了承され、引き続き令和5年度も検討を進めることとなった。

以上

資料 5

全国大学ビブリオバトル2022 ビブリオバトル地区決戦（中国Bブロック）報告

1. 概要

日時：令和4年11月12日（土）14：00～15：00

場所：広島大学霞図書館 セミナー室 〒734-0037 広島県広島市南区霞1丁目

2. 紹介本・バトラー

発表順	紹介本	バトラー
1	三秋 隼『三日間の幸福』（2013年 メディアワークス文庫）	広島市立大学 情報科学部情報工学科 野田楓稀（のだふうき）
◎2	高野 登『リッツ・カールトンが大切にするサービスを超越する瞬間』（2007年 かんき出版）	広島工業大学 大学院工学系研究科機械システム工学専攻 鎌田壮平（かまだそうへい）
3	太田 紫織『櫻子さんの足下には死体が埋まっている』（2013年 KADOKAWA）	福山大学 人間文化学部 メディア・映像学科 高田結衣（たかたゆい）
4	藤井 基二『頁をめくる音で息をする』（2021年 本の雑誌社）	広島大学 人間社会科学研究科 坪中初穂（つぼなかはつほ）

◎：チャンプ本（2と4で決選投票となった）

3. 参加者数

バトラー4名

司会 広島市立大学附属図書館 稲角祐子

プレゼンター 広島大学 図書学術情報企画グループリーダー 尾崎文代

観覧参加者 14名

内 広島大学図書館職員 2名

他大学図書館職員 4名（バトラー引率）

広大学生 1名

学生および保護者等外部参加者 7名

合計 20名

4. 広報

広島県大学図書館協議会 Web サイト (<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/haul/?p=1087>)

広島県大学図書館協議会メーリングリストで開催概要を連絡(11/9)

※会場が広くないため、広報は協議会内のみに留めた。

5. まとめ

- ・ 広島県大学図書館協議会の主催としては初の開催となった。
- ・ 協議会内で正式に参加する図書館が確定した後、オンラインミーティング (Teams) を行った。
- ・ 司会の台本は予選で使用したものを流用した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、会場となる霞図書館に入退館の方法、来館・駐車場の情報、感染対策の案内を確認し、参加図書館および観覧参加者への周知を行った。入館制限を行っていたためその対応として広大職員を入口に配置した。
- ・ 集計は、各図書館から参加していた一名以上の職員で対応した。
- ・ 進行で戸惑う場面があったため、リハーサルを行う方がよい。



会場の様子 (スライド・順番表示・バトラーと司会の配置)



バトラー記念写真

6. 全国大学ビブリオバトル 2022 ファイナルステージ in 浦安

日時：2022年12月25日(日) 会場：明海大学(千葉県浦安市)

地区チャンプ本を獲得した鎌田さん@広島工業大学が、準決勝突破の上、ファイナリストとして決勝戦に進出した。

以上

資料 6

2022年 11月 7日

広島県大学図書館協議会 御中

フリガナ ヒロシマコクサイガクインダイガク
大学名 広島国際学院大学
フリガナ ヒロシマコクサイガクインダイガクトショカン
図書館名 広島国際学院大学図書館
図書館長名 新川 英典



広島県大学図書館協議会 脱退届

下記の期日をもって、広島県大学図書館協議会を脱退いたします。

記

1. 脱退期日 : 2023年 3月 31日
2. 脱退理由 : 2023年3月の広島国際学院大学閉学に伴い、
広島国際学院大学図書館を閉館するため。
3. 連絡先等 : 事務責任者 寺西 美佳
連絡担当者 高富 幸子
電話 082-820-2536 FAX 082-820-2536
e-mail toshokan@office.hkg.ac.jp
住所 〒739-0321 広島県広島市安芸区中野 6丁目 20-1

以上